

2020年5月22日

各 位

熊本YMCA学院  
校長 加藤 泰文

### 新型コロナウイルス感染症対策に伴う対応について

拝啓 新緑の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

この度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2ヵ月に渡る休校となり、学生の皆さん、保護者の皆様、非常勤講師の皆様にはご心配おかけいたしましたことを深くお詫びいたします。

緊急事態宣言解除を受け、熊本県、熊本市内における感染症の状況を鑑み、熊本YMCA学院では、県から出されております新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに基づき、学生の皆さんや熊本YMCAに関わる全ての人々の命と健康を守り、感染拡大の防止に向け、新生活様式に取り組みつつ、6月1日（月）より授業を再開いたします。4月から進めておりますオンライン授業を継続しつつ、段階的に分散登校にて授業を行っているところです。ご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、新型コロナ感染症の一日も早い終息をお祈りいたしますとともに、皆様におかれましても、引き続きご自愛ください。

敬具

### 記

#### ○感染拡大防止の基本的な考え方について

感染対策のポイントは「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」が重要です。新生活様式を踏まえ、「密閉」「密集」「密接」の3密を避け、衛生・健康管理、手洗い、マスクの着用の徹底を行います。

#### ○具体的な対策について

(スタッフ・全般)

- ◇ 手洗い、咳エチケットを徹底する。
- ◇ 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。
- ◇ 毎朝検温し、37℃以上の場合は責任者へ報告、出勤を控える。
- ◇ 受付などで直接、来館者対応するスタッフはマスク着用を推奨する。
- ◇ 入口にアルコール消毒などを設置する。
- ◇ 利用者が手で触れるドアノブ、手すりなどを各センターの実情に合わせて定期的に消毒する。(推奨回数2時間に一度)
- ◇ 事務所、館内は1時間に一度は換気を行う。季節的に体感に問題がなければ常に窓を開けておくことが望ましい。
- ◇ 施設利用者の方には可能な限りマスクの着用をお願いする。

- ✧ トイレに窓がある場合は、安全面に問題がなければ常に開けておき、換気扇も常に稼働させる。
- ✧ トイレ内のエアータオル（ハンドドライヤー）は使用禁止とする。
- ✧ 館内での集団での会話などは控えていただくようお願いする。
- ✧ 体調のすぐれないメンバーがいた場合に検温ができるよう、体温計を用意しておく。
- ✧ 内部からの感染は、YMCA他関係者へ多大な損害を与える可能性があるため、プライベートであっても不要不急の県外・国外への外出や人混みが想定される場合は当面避ける。

（学生の皆さん）

- ✧ **手洗いうがい、マスク着用、検温**、不要不急の外出の自粛をする。
- ✧ クラス開始時に学生の体調確認を行う。申し出があった場合、体調が優れない様子がある場合は検温し、37℃以上の場合は帰宅していただく。
- ✧ クラス内に消毒用セットを設置し、クラス入れ替え時には机など学生が手で触れるものを消毒する。
- ✧ 更衣室の利用は可能な限り、一度に密集しないよう分散して利用するなど工夫する。
- ✧ クラス内では可能な限り学生同士の間隔、講師との間隔を空けるようにする。
- ✧ 30分に一度は換気を行い季節的に体感に問題がなければ常に窓を開けておくこと。（空気が流れるように二方向以上開ける）
- ✧ グループワークやレクリエーション等、近距離での会話や活動については、収束するまでは座学スタイルで行う（可能な限り間隔をあけた座席の工夫）。
- ✧ 人数が20名以上になる場合は、広い教室の使用、教室を分けてオンライン授業等を取り入れ授業を行う。
- ✧ 自宅で検温し、37℃以上ある場合は自宅待機することを徹底する。

#### ○YMCAで感染者が出た場合の対応

YMCAの職員及び家族、プログラム参加者、学生、講師・リーダーなどで感染者が出た場合は、基本的に該当センターのプログラムをすべて中止し、学校保健安全法に準じて閉館の措置をとります。その後の対応につきましては、保健所、行政機関に確認をとりながら進めてまいります。

#### ○イベント、行事などの開催

引き続きイベント、行事の開催については政府からの自粛要請も続いています。開催の有無または方法について適切に対応いたします。

以上